

【報告】

第74回全国植樹祭1年前記念イベントについて

1 イベント概要

- (1) 行事名 「第74回全国植樹祭 岡山2024」1年前記念「ひゃっかさい百花彩」
- (2) 日 時 令和5年5月20日（土）9：00～16：00
- (3) 場 所 西大寺緑花公園・百花プラザ
- (4) 主催者 第74回全国植樹祭岡山県実行委員会、岡山県、岡山市、公益財団法人岡山市公園協会
- (5) 参加者 約13,000人（「百花彩」としては過去最高の参加者数）

2 開催内容

(1) 記念式典

主催者挨拶 知事、岡山市長

来賓挨拶 県議会議長 小倉弘行、岡山市議会副議長 森田卓司

記念植樹 知事、岡山市長、野口健氏

(2) 基調講演

講師：アルピニスト 野口健氏

演題：山から学んだ環境問題と森林再生活動

(3) 展示コーナー・体験イベント

- ・第74回全国植樹祭PRコーナー（クイズラリーほか）
- ・林業PRコーナー（パネル展示、ドローン展示ほか）
- ・木や花を使用した体験コーナー（丸太切り体験、しいたけ植菌体験ほか）
- ・花絵展示（県立興陽高等学校生徒作品） など



3 当日の状況



記念植樹



基調講演



植樹祭PRコーナー



体験コーナー（丸太切り）

【報告】

地域植樹について

1 目的

第74回全国植樹祭の開催機運を盛り上げるとともに、県民の緑化意識の醸成等を図るため、植樹祭記念事業として、地域植樹を県内5ヵ所で開催する。

2 事業名

第74回全国植樹祭記念事業（地域植樹）

3 主催

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会



プレ地域植樹の状況
（津山市阿波地内）

4 事業概要

(1) 植樹計画等

開催日	植樹場所	募集人数	面積	植樹本数
9月30日（土）	鏡野町上齋原地内 （恩原高原）	250人	0.62ha	750本
10月8日（日）	勝央町岡地内 （ファーマーズ・マーケットノースヴィレッジ）	みどりの大会 との併催のため、 募集なし	0.09ha	100本
10月21日（土）	新見市大佐小阪部地内 （大佐山大日高原）	240人	0.59ha	700本
11月中旬予定	津山市市場地内 （ウッドパーク声ヶ峠）	170人	0.40ha	500本
11月25日（土）	高梁市有漢町有漢地内 （高梁市市有林）	400人	1.20ha	3,600本
計		1,060人	2.90ha	5,650本

(2) 実施内容

植樹、木工・林業体験等

(3) 植樹樹種

少花粉ヒノキ、ヤマザクラなど地域特性に応じた樹種

5 申込方法

7月10日（月）から岡山県電子申請サービスにて申込を開始予定。

※それぞれの植樹場所開催日の1ヵ月前を申込期限とする。

6 第74回全国植樹祭への参加

地域植樹に参加された方に対しては、全国植樹祭の県内一般参加者の公募において、優先枠を設ける（約50名）。

【報告】

招待者の一般公募について

1 目的

県民の方々の御参加により、緑化意識のさらなる醸成を図り、緑あふれる郷土を未来の子どもたちへつないでいく全国植樹祭が開催できるよう、参加者を募集する。

2 募集人数

約 100 名予定

※応募者多数の場合は抽選を行う。

※抽選においては地域植樹参加者の優先枠を設ける。

3 応募資格

岡山県内在住であり、18 歳以上の方

(グループでの応募の場合は 6 歳以上も対象とする。)

4 募集期間

令和 5 年 11 月末～12 月末予定

5 応募方法

- ・インターネット（専用サイト）での申込
- ・郵送での申込

6 スケジュール

令和 5 年 11 月 公募受付の開始

12 月 公募締切

令和 6 年 1 月 抽選

2 月 抽選結果通知

5 月 案内状送付

7 その他

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会ホームページ、SNS で周知するとともに、県庁、県民局等に応募ガイドを設置し、広く募集する。

【報告】

「木製地球儀」の巡回展示について

1 目的

第74回全国植樹祭の周知や開催機運醸成のため、全国植樹祭のシンボルである「木製地球儀」を県関係施設及び県内市町村で巡回展示することにより、全県的な盛り上げを図る。

2 木製地球儀とは

「木製地球儀」は、21世紀最初の全国植樹祭となった第52回山梨大会の際に、21世紀は地球環境の時代であり、森林・林業がさらに重要な役割を担うということイメージして作成されたもの。

※地球儀はヒノキ、葉はナラ、基台はケヤキで作られており、高さ60cm、幅50cm、重さ14.7kg



岩手大会でのリレーセレモニーの状況

3 実施内容

(1) 巡回展示及びセレモニー

巡回展示開始時等に首長によるセレモニーを実施

※木製パネルに木製パーツの貼付をしてもらい、27市町村の協力を得て完成させる。

(2) 巡回ルート

県民局管内ごとに巡回（美作局→備中局→備前局）

(3) 資材等

木製地球儀、展示台（地球儀収納BOX兼用）、台車、のぼり旗、バックパネル、PR用資材については、実行委員会で準備

(4) 期間

8月頃から来年3月頃までに県内全市町村を巡回

※来年4月以降は、開催市である岡山市役所や県庁で展示予定



木製パネル制作イメージ

【報告】

全市町村参画による記念植樹について

1 目的

第74回全国植樹祭の開催機運を盛り上げるとともに、緑化意識のさらなる醸成等を図るため、県内全ての市町村において、首長等による記念植樹を実施する。

2 記念植樹の概要

(1) 実施時期

令和5年度中

(2) 事業主体

市町村

(3) 実施内容

公共施設又は各種イベント時において、首長等による植樹を実施

(4) 植樹樹種

市町村が希望する樹種（苗木及び標柱等は、実行委員会が準備して提供する。）

(5) その他

実行委員会の各種媒体を活用して、記念植樹の実施状況等をPRする。

3 実施状況

県内でトップとなる記念植樹を赤磐市において実施した。
本年秋以降に、各市町村において実施が計画されている。



赤磐市長がゲッケイジュを植樹
(熊山英国庭園内)

【報告】

招待者記念品の募集等について

1 目的

全国からの招待者を岡山らしいおもてなしでお迎えし、岡山県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に情報発信することを目的に、希望する市町村の記念品等を配付する。

2 招待者に配付する記念品

(1) 配付日

全国植樹祭式典当日

(2) 配付する招待者

国務大臣等の中央特別招待者（約 30 人）及び県外招待者（約 920 人）

希望があれば県内招待者（約 900 人）への配付も対応可

※天皇皇后両陛下への献上品ではありません。

3 今後のスケジュール

令和 5 年 7 月～ 9 月 記念品の希望調査（実行委員会→各市町村）

10 月～12 月 記念品の選定

令和 6 年 1 月～ 3 月 納品場所等の連絡調整

5 月～ 6 月 納品

4 実行委員会で予定している記念品

- ・岡山後楽園を彩る樹木から育てた苗木（ヒラドツツジ・サツキ・アジサイ）
- ・岡山市内の小学生が作成した木製メッセージプレート



岡山後楽園で育成中の苗木



木製メッセージプレート（ヒノキ製：
縦×横 12cm×20cm 厚さ 1cm）

【第 1 号議案】

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会会則の一部改正について

1 別表第 1 の改正（第 4 条関係）【実行委員会】

（内容）

会則の別表第 1 の改正

○ 委員（県議会）

（改正前）岡山県議会環境文化保健福祉委員会

（改正後）岡山県議会環境文化保健子ども福祉委員会

（理由）

岡山県部等設置条例の一部改正により、保健医療部及び子ども・福祉部が設置されたことに伴い、従来の岡山県議会環境保健福祉委員会の名称が改められたため。

2 施行日

令和 5 年 7 月 4 日

3 新旧対照表

別紙のとおり

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会会則の一部改正 新旧対照表

改正前				改正後			
第1条～第18条 (略)				第1条～第18条 (略)			
				<p align="center">附 則</p> <p align="center"><u>この会則は、令和5年7月4日から施行する。</u></p>			
別表第1 (第4条)【実行委員会】				別表第1 (第4条)【実行委員会】			
職名	区分	所属	役職	職名	区分	所属	役職
(略)				(略)			
委員	(略)			委員	(略)		
	県議会	岡山県議会環境文化保健福祉委員会	委員長		県議会	岡山県議会環境文化保健子ども福祉委員会	委員長
(略)				(略)			

【第 2 号議案】

令和 4 年度 収支決算 (案)

(1) 収入の部

(単位：円)

区 分	当初予算額	収入済額	増 減	摘 要
1 負 担 金	18,643,000	18,643,000	0	岡山県負担金
2 助 成 金	0	2,000,000	2,000,000	国土緑化推進機構 助成金
3 諸 収 入	0	173	173	預金利息
合 計	18,643,000	20,643,173	2,000,173	

(2) 支出の部

(単位：円)

区 分	当初予算額	支出済額	増 減	摘 要
1 総 務 費	1,295,423	865,471	▲429,952	実行委員会・専門 委員会開催費 等
2 開催事業費	15,478,919	10,382,446	▲5,096,473	基本計画作成、苗 木の育成体験実 施、地域植樹実施 等
3 広報啓発費	1,868,658	1,032,716	▲835,942	大会ポスター原画 選定、広報啓発資 材の作成、植樹祭 だより発行 等
合 計	18,643,000	12,280,633	▲6,362,367	

収入の部 20,643,173 円
 支出の部 12,280,633 円
 差引残額 8,362,540 円

※差引残額の内、1,500,062 円は岡山県に戻入した。
 差引残額の内、6,862,478 円は令和 5 年度に繰り越すこととする。

(3) 協賛金収入の部

区 分	当初予算額	収入済額	増 減	摘 要
1 協 賛 金	0	13,110,000	13,110,000	資金協賛
合 計	0	13,110,000	13,110,000	

(4) 協賛金支出の部

該当なし

協賛金収入の部 13,110,000 円
協賛金支出の部 0 円
差引残額 13,110,000 円

※差引残額 13,110,000 円は積立金として令和5年度に繰り越すこととする。

監 査 報 告 書

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会会則第15条第2項の規定に基づき、歳入・歳出に関する帳簿及び証拠書類について監査した結果、その内容は適切であると認めます。

令和5年4月21日

監事

善勝 史

令和5年4月21日

監事

戸取 幸子

- 1 開催意義
- 2 岡山県における全国植樹祭の開催状況
- 3 開催理念
- 4 岡山県の特徴を活かした大会の基本方針
- 5 大会テーマ
- 6 シンボルマーク
- 7 大会ポスター原画
- 8 開催会場
- 9 主催
- 10 開催規模
- 11 開催時期

第2章 式典行事計画

- 1 基本的な考え方
- 2 式典行事演出計画
- 3 式典行事運営計画
- 4 式典行事進行計画
- 5 音響・映像システム計画
- 6 式典行事演出準備スケジュール

第3章 植樹行事計画

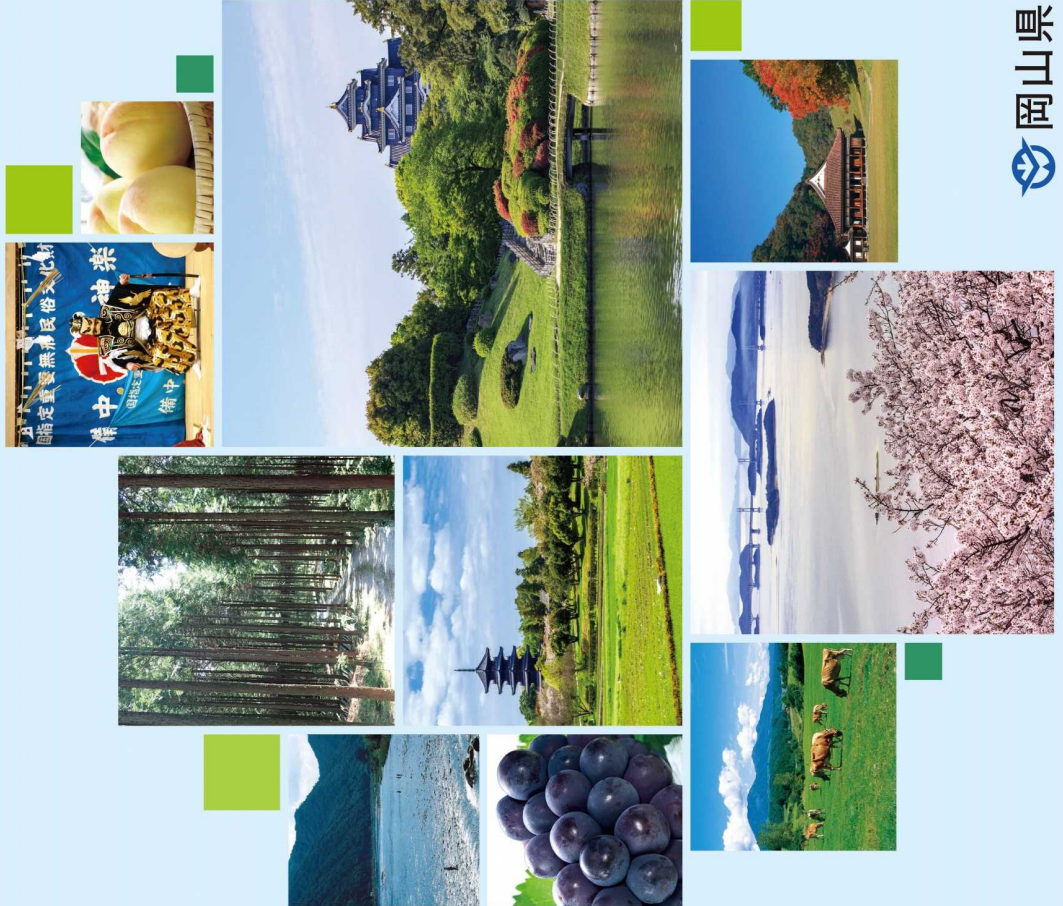
- 1 基本的な考え方
- 2 お手植え計画
- 3 お手播き計画
- 4 代表者記念植樹計画
- 5 都道府県代表者等植樹計画
- 6 植樹要領
- 7 県外招待者へ苗木の贈呈
- 8 地域植樹計画

第4章 式典会場等整備計画

- 1 基本的な考え方
- 2 施設配置計画
- 3 主要施設計画
- 4 案内・誘導計画
- 5 電気・通信設備等計画
- 6 飾花計画



実施計画（素案）



目次

第5章 運営計画

- 1 基本的な考え方
- 2 招待計画
- 3 招待者行動計画
- 4 受付計画
- 5 特別接伴計画
- 6 作品御覧・交流会計画
- 7 会場内動線計画
- 8 会場おもてなし計画
- 9 サテライト会場等計画
- 10 医療・衛生計画
- 11 消防・防災・警備計画
- 12 実施体制計画
- 13 研修・リハーサル計画
- 14 非常時対応計画

第6章 宿泊・輸送等計画

- 1 基本的な考え方
- 2 宿泊計画
- 3 輸送計画
- 4 運行管理体制・道路交通対策

第7章 記念事業等計画

- 1 基本的な考え方
- 2 記念事業
- 3 関連事業

第8章 広報・協賛計画

- 1 基本的な考え方
- 2 広報計画
- 3 協賛計画

第1章 開催概要

1 開催意義

本県は、みどり豊かな中国山地に3つの河川（吉井川、旭川、高梁川）が源を發し、良質で豊かな水をたたえながら吉備高原、岡山平野を経て、風光明媚な瀬戸内海に注いでおり、みどりと水に恵まれた環境の中で多様な自然が育まれています。こうした多様な身近な自然は、生物多様性の保全やレクリエーションの場の提供、木材の生産など、私たちの快適な生活に欠くことのできない大切な役割を担っています。

また、県土の約7割を森林が占めており、生産量国内トップクラスのヒノキを始めとする豊富な森林資源を活用し、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させることで、県民共有の財産である岡山の森林をより良い姿で次の世代に引き継いでいかなければなりません。

こうした中で、令和6（2024）年に開催する第74回全国植樹祭は、多様な主体が一体となり、森林を始めとするみどり豊かな自然を守り育てる取組等を推進することにより、森林の持つ公益的機能の確保はもとより、近年、その重要性が再認識されている「循環経済」の加速化など、未来に向けて、人と森林の理想的なかわりへつなげていけるよう、岡山ならではの特色ある有意義な大会とします。



第1章 開催概要

2 岡山県における全国植樹祭の開催状況

昭和42(1967)年4月9日、金山山頂(岡山市)において、天皇后両陛下をお迎えし、「拡大造林と環境緑化」を大会テーマに、第18回全国植樹祭を開催しました。

当日は、あいにくの荒天となり、開催規模を約200人に縮小(晴天時は13,000人を予定)して実施されました。会場のテントの中で、両陛下はアカマツを鉢にお手植えになりました。

また、翌4月10日、蒜山地域(旧真庭郡川上村)において、天皇陛下はアカマツを、皇后陛下はヒノキをお手播きになりました。



アカマツをお手植えされる天皇后両陛下(岡山市)



お手植え苗木移植式
(4月17日 岡山市)



両陛下お手植えの苗木の移植
(4月17日 池田厚子さん)

お手播きされる天皇后両陛下(蒜山地域)
(天皇陛下：アカマツ、皇后陛下：ヒノキ)

第1章 開催概要

3 開催理念

私たちは、第74回全国植樹祭の開催を通じて、「豊富な森林資源の循環利用を進めるとともに、森林の持つ公益的機能の確保に努めます。

また、県民一人ひとりの緑化意識のさらなる醸成を図り、豊かな自然を守り育てるための県民運動を拡大する契機とし、みどりあふれる郷土を未来の子どもたちへつないでまいります。併せて、本県の歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。

4 岡山県の特徴を活かした大会の基本方針

(1) 未来に向けて多様で豊かな森林を守り育て、人と森林の理想的なかわりへつなげていく大会

○ 豊富な森林資源の循環利用による林業の成長産業化の表現に向けて、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを活性化させるとともに、少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えや木材・木質バイオオマスの利用を通じて、森林の公益的機能の確保を図ります。

○ 環境問題への関心の高まりから、県内各地で、森林保全活動に取り組むボランティア団体や企業等が増えています。今後、全国植樹祭に向け、より多くの県民の皆様に参加いただきながら開催の機運を盛り上げてまいります。また、この大会を契機として、緑化意識の醸成を図り、豊かな森林の緑をよりよい姿で将来へ引き継いでいきます。

(2) 岡山県の豊かな自然や歴史・文化等の魅力発信

○ 中国山地、瀬戸内海、三大河川など多彩で豊かな自然や、本県の気候風土に育まれた歴史・文化など数多くの魅力を全国に発信します。

○ 県外から訪れる多くの参加者に対して、関係者はもとより県民全体で「おもてなしの心」で対応し、岡山県にまた来たいと思われような「温かみ」のある大会とします。

第1章 開催概要

5 大会テーマ

全国から応募があった1,444点の作品の中から選定しました。

晴れの国 光で育つ 緑の心

- 作者：おおすみ ほんな
おおすみ ほんな (岡山市北区・岡山市立西小学校5年生 ※選定時)
- 制作意図：岡山は晴れの国だから光を使った。育つのは緑にも心にも使えるから両方育てばいいなと思いたいその願いをこめた。

6 シンボルマーク

全国から応募があった471点の作品の中から選定しました。

- 作者：みやかわ ちはる
みやかわ ちはる (岡山市北区)
- 制作意図：ももっち、うらっちの足元の輪を繋げる事で、「循環」「人・活動のつながり」を表現。2人の服装は緑を基調に動きやすい格好にした。背景の桃にサンバースト(太陽光線)をあしらう事で、晴れの国のイメージも出して岡山らしさを出した。



7 大会ポスター原画

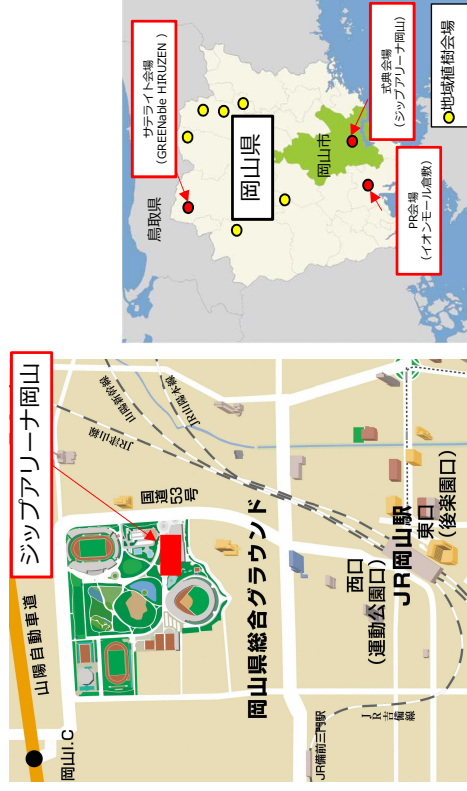
岡山県内の小中高生から応募があった615点の作品の中から選定しました。

- 作者：にしやま こごな
にしやま こごな (浅口市・浅口市立金光小学校5年生 ※選定時)
- 制作意図：晴れの国と太陽とやさしさでハートの木を大きく育て、みんなが幸せになれるといいなという思いをこめた。



第1章 開催概要

8 開催会場



(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇后両陛下によるお手植え、お手播き行事や各県代表者等による植樹を実施します。また、岡山県の魅力を発信するおもてなし広場を隣接地に設定し、参加者を歓迎します。

■ ジップアリーナ岡山 (岡山市北区)

JR岡山駅から約1.5kmの岡山県総合グラウンド内に位置し、メインアリーナやサブアリーナを備え、ガラス面を多く採用し、木材を椅子、床、壁面に使用した明るく開放的で温かい雰囲気のある体育館です。

屋内施設であるため、荒天時の式典会場は別に設けません。



シップアリーナ岡山



式典会場 (イメージ)

第1章 開催概要

(2) サテライト会場・PR会場

式典参加者のみならず、より多くの県民の皆様と開催理念を共有し、第74回全国植樹祭の開催効果を高めるため、サテライト会場やPR会場を設置します。

区分	会場名	所在地
サテライト会場	GREENable HIRUZEN (グリーンナブルヒルゼン)	真庭市
PR会場	イオンモール倉敷	倉敷市

■ サテライト会場



■ PR会場



(3) 地域植樹会場

令和5年度を中心とした県民参加の地域植樹会場を設置します。

区分	時期	場所
ブレ地域植樹	令和4(2022)年 10月8日	津山市阿波 <small>だいがせん</small> 大ヶ山牧場跡地
	令和5(2023)年 9月30日	鏡野町上齋原 恩原高原
	令和5(2023)年 10月8日	勝央町岡 おかやまファーマーズ・ マーケット ノースヴィレッジ
地域植樹	令和5(2023)年 10月21日	新見市大佐小阪部 大佐山大日高原
	令和5(2023)年 11月中旬	津山市市場 <small>こえがたわ</small> ウッドパーク声ヶ川
アフター 地域植樹	令和5(2023)年 11月25日	高梁市有漢町有漢 高梁市市有林
	令和6(2024)年 秋頃	津山市阿波 <small>だいがせん</small> 大ヶ山牧場跡地

第1章 開催概要

9 主催

公益社団法人国土緑化推進機構
岡山県

10 開催規模

第74回全国植樹祭は、県内外から参加する招待者約2,000人の規模で開催します。

参加者区分	参加予定者数	備考
県外招待者	950人	国関係者、被表彰者、各都道府県招待者 等
県内招待者	900人	県議会議員、市町村関係者、森林・林業・緑化関係者、実行委員会委員、県内公募による一般県民等

上記参加者に加え、運営をサポートする県職員を中心とした実施本部員500人や出演者200人が式典に従事します。

11 開催時期

令和6(2024)年春

第2章 式典行事計画

1 基本的な考え方

式典行事は、次の事項を基本として実施します。

- 開催理念を共有するとともに、参加者の心に残る内容とします。
- 簡素化を図りながら、厳粛で品格があるものとしします。
- 県内外から、若い世代、高齢者、障害のある方等できる限り多くの皆様や大会に賛同いただいた企業、団体等が参加できるよう配慮します。

2 式典行事演出計画

式典行事は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	演出テーマ	内容
プロローグ	もり 森林の軌跡	○ 招待者を歓迎する気持ちを表現 ○ おかやまの林業の歴史や森林と人の関わりを紹介
記念式典	もり 森林への想い	○ 森林への想いや都市とのつながり、決意を表明
エピローグ	もり 豊かな森林を次世代へ	○ 岡山の豊かな森林を次世代へつなげていくことを全員で確認し、全国に発信

3 式典行事運営計画

式典行事運営は、次の事項を基本とし、岡山県らしさを感じていただける運営を行います。

- 式典行事の運営は、参加者の安全性や快適性に十分配慮し、児童・生徒等の協力を得ながら行います。
- 司会者や式典アシスタント、式典音楽隊の出演者等については、児童・生徒をはじめ県内の関係団体等の協力と参加を得て編成します。

第2章 式典行事計画

4 式典行事進行計画

(1) 式典行事スケジュール

区分	プログラム	進行内容
プロローグ (65分程度)	イントロダクション	来場者の歓迎、大会概要等
	プロローグアトラクション	森林の軌跡
	感謝状の贈呈	「大会テーマ」「シンボルマーク」「大会ポスター原画」感謝状の贈呈
	記念切手の贈呈	国土緑化運動記念切手の贈呈
	天皇皇后両陛下御入場	
	開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
	国歌独唱	
	主催者挨拶	大会会長(衆議院議長)、岡山県知事
	天皇陛下のおことば	
	表彰	緑化功労者などへの表彰
記念式典 (60分程度)	苗木の贈呈	県内高校生から農林水産大臣、環境大臣に苗木を贈呈
	天皇皇后両陛下お手植え・お手播き 代表者記念植樹	
	メインアトラクション	森林への想い
	大会宣言	国土緑化推進機構副理事長
	リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
	閉会のことば	岡山県議会議長
エピローグ (40分程度)	天皇皇后両陛下御退場	
	エピローグアトラクション	豊かな森林を次世代へ

第2章 式典行事計画

(2) 登壇者一覧

No.	登壇者名	出演シーン等
1	大会会長（衆議院議長）	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②主催者挨拶 ③表彰 （国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール） ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
2	（公社）国土緑化推進機構理事長	①天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ②天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ③大会宣言 ④天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
3	岡山県知事	①感謝状の贈呈 ②記念切手の贈呈 ③天皇皇后両陛下 御到着・御徒歩・御着席 ④主催者挨拶 ⑤表彰（岡山県緑化功労者） ⑥天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き ⑦リレーセレモニー ⑧天皇皇后両陛下 御退席・御徒歩・御出発
4	農林水産大臣	①表彰（緑化功労者） ②苗木の贈呈
5	文部科学大臣	○表彰（全日本学校関係緑化コンクール）
6	環境大臣	○苗木の贈呈
7	（公社）国土緑化推進機構副理事長	○開会のことば
8	埼玉県知事	○リレーセレモニー・次期開催県知事挨拶
9	岡山県議会議長	○開会のことば
10	岡山市長	○開催市長挨拶
11	日本郵便株式会社 代表取締役社長兼執行役員社長	○記念切手の贈呈
12	受賞者（感謝状） ・大会テーマ ・シンボルマーク ・大会ポスター原画	○感謝状の贈呈
13	受賞者（表彰） ・国土緑化運動・育樹運動ポスター 原画コンクール入賞者代表 ・緑化功労者代表 ・全日本学校関係緑化コンクール 入賞者代表 ・岡山県緑化功労者代表	○表彰

第2章 式典行事計画

(3) 式典行事演出の概要

プロローグアトラクション
もり
「森林の軌跡」
＜ シーン構成イメージ 検討中 ＞

記念式典 メインアトラクション
もり
「森林への思い」
＜ シーン構成イメージ 検討中 ＞

エピローグアトラクション
もり
「豊かな森林を次世代へ」
＜ シーン構成イメージ 検討中 ＞

第2章 式典行事計画

第2章 式典行事計画

5 音響・映像システム計画

(1) 音響

演出内容にふさわしい音響効果が得られるよう、適切な場所にスピーカーを設置します。



(2) 映像

大型映像装置を2か所に配置し、どの位置の参加者からでも式典の状況を視認できるようにします。
大型映像を使って、式典の構成や演出を効果的に表現します。



6 式典行事演出準備スケジュール

年度	令和5年度												令和6年度				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
全体	開催日決定							実施計画決定									
演出関係	構成・演出	構成・演出内容の決定					式典台本の作成・修正					リハーサル 総合①(●月●日) / 総合②(●月●日) / 前日(●月●日)					
	式典演技	演技内容の決定					演技内容の具体化										
	式典音楽	楽曲の決定		楽譜の作成・調達													
	映像ソフト	映像構成の検討 素材収集					映像制作										
	音響・映像システム	機器システム計画					システム設計・調整										
出演者関係	式典アシスタント	アシスタントの検討・決定					研修・練習										
	介添え	介添者の検討・決定					研修・練習										
	式典音楽隊出演者	出演団体(者)の検討・決定					練習										
資料関係	登壇者行動表	登壇者行動表の検討					登壇者行動表の作成・調整										
	出演者行動表	出演者行動表の検討					出演者行動表の作成・調整										
	リハーサル計画	各リハーサル計画の検討					各リハーサル計画の作成・調整										
	運営マニュアル	各マニュアルの検討					各運営マニュアルの作成・調整										

第3章 植樹行事計画

1 基本的な考え方

植樹行事は、次の事項を基本として実施します。

- 将来目指すべき森林の姿をイメージした上で、本県の気候風土や地域の特徴に適した樹種で、県民の皆様が親しみのあるものを選定します。
- 式典会場内にお手植え所・お手播き所、代表者記念植樹地を設けます。
- 式典会場周辺に、各県代表者等による植樹地を設けます。
- 県民参加による森づくり・身近なみどりの創出につなげるため、地域植樹会場を設け、多くの県民の皆様が参加できるようにします。
- 植樹用の苗木は、県内で採取した種子等により育成したものを使用することを基本とし、地域植樹では児童など県民の皆様が育てた苗木も使用します。
- 植樹の際には、「岡山県工コ製品」に認定された土を使用することで、環境保全を意識しながら資源の循環利用に努めます。

2 お手植え計画

- 天皇后両陛下に、お手植えを賜ります。
- お手植えされた記念樹は、第74回全国植樹祭の開催を記念し、県土を育む豊かな森づくりのシンボルとして大切に管理・育成していきます。



第70回全国植樹祭（愛知大会）

第3章 植樹行事計画

■ 天皇后お手植え樹種

県を代表する有用な樹木3種を選定

樹種	特徴・選定理由など
アカマツ (抵抗性：桃太郎松)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の木として広く県民に親しまれています。 ・ 建築材としての利用のほか、備前焼の燃料としても利用されています。 ・ 第18回大会（昭和42年）で天皇后両陛下がお手植えされた樹種です。
ヒノキ (少花粉)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の林業を支える主要樹種で、県内には気候風土に適したヒノキが多く植えられています。 ・ 建築材などに利用され、生産量は全国トップクラスです。 ・ 第18回大会で皇后陛下がお手播きされた樹種です。
スギ (少花粉)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の林業を支える主要樹種で、ヒノキの次に多く植えられています。 ・ 建築材やCLTの材料として利用されています。

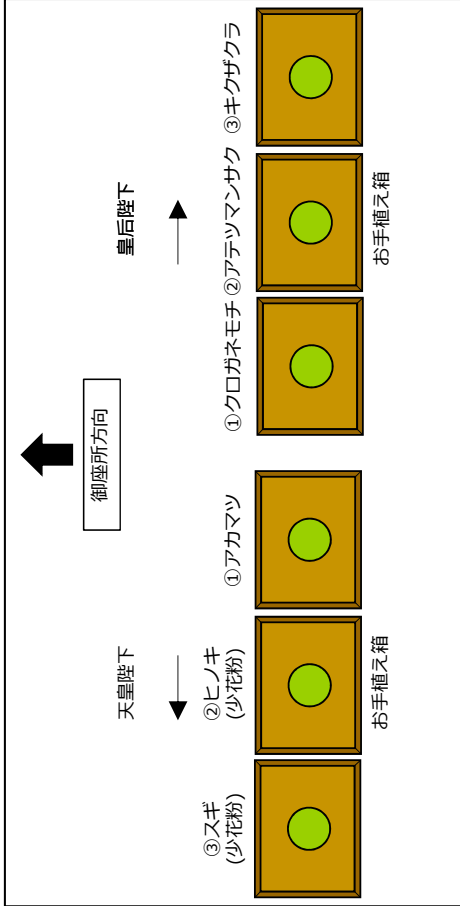
■ 皇后陛下お手植え樹種

県にゆかりのある花や実の美しい樹木3種を選定

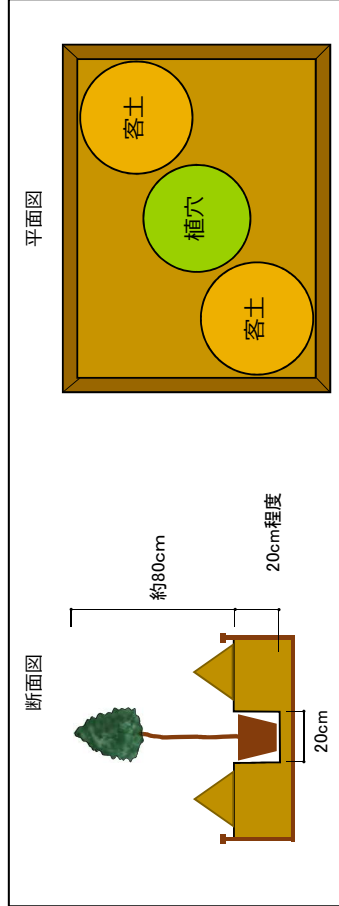
樹種	特徴・選定理由など
クロガネモチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方名の「あくら」は岡山市内の道路の名称としても親しまれています。 ・ 5月から6月頃に淡紫色の小花を咲かせた後、赤い実を付けます。
アテツマンサク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿哲郡（現・新見市）で発見され、命名された地域固有樹種です。 ・ 2月から3月頃に淡黄色で短冊のような花を咲かせます。
キクザクラ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和28年に昭和天皇が行幸啓の際、後楽園に植樹されました。 ・ 池田厚子さん（順宮厚子内親王）のお印です。 ・ 4月下旬に淡紅色の多数の花弁を付ける「菊咲き」をします。

第3章 植樹行事計画

■ お手植え樹種配置図



■ お手植え標準図



第70回全国植樹祭（愛知大会）

第3章 植樹行事計画

3 お手播き計画

- 天皇皇后両陛下に、お手播きを賜ります。
- お手播きされた種子から養成した苗木は、岡山県が管理・育成し、県内の公共施設等に「記念樹」として配付します。

■ 天皇陛下お手播き樹種

将来にわたり林業を支える樹木2種を選定

樹種		特徴・選定理由など
ヒノキ (少花粉)		<ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたり林業を支える樹種として県が普及に取り組んでいます。 ※木材の利用期を迎えているスギ・ヒノキ人工林の伐採に併せて、跡地に少花粉苗木による植替えを促進するなど花粉発生源対策に取り組んでいます。
スギ (少花粉)		

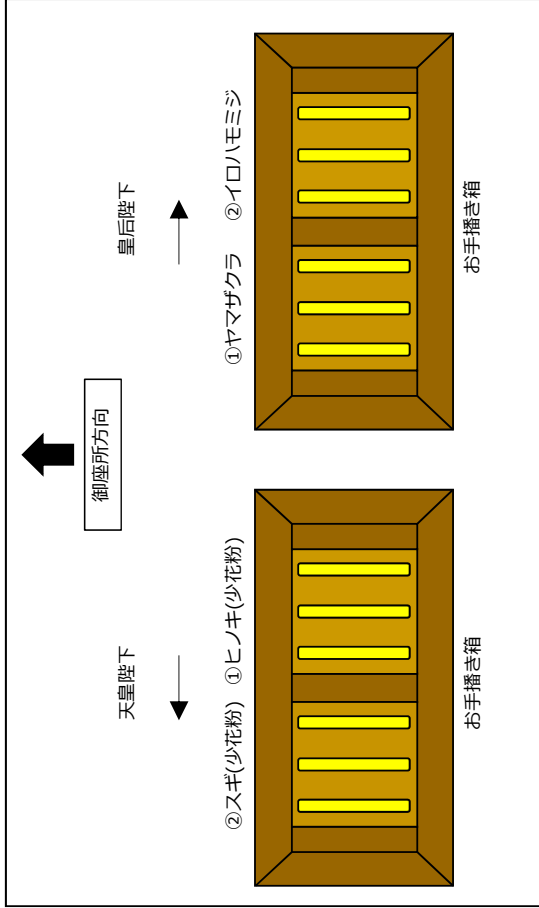
■ 皇后陛下お手播き樹種

四季折々の景観を形成する花や紅葉の美しい樹木2種を選定

樹種		特徴・選定理由など
ヤマザクラ		<ul style="list-style-type: none"> ・県内に広く自生する野生種で、県の天然記念物など、地域のシンボルとなっています。 ・淡紅色の花を咲かせ、新緑の山野に春の風情を添えています。
イロハモミジ		<ul style="list-style-type: none"> ・県内に広く自生する樹種で、国の名勝の豪渓など、多くの名所があります。 ・紅葉する様子は鮮やかで、秋の自然景観に彩りを添えています。

第3章 植樹行事計画

■ お手播き樹種配置図



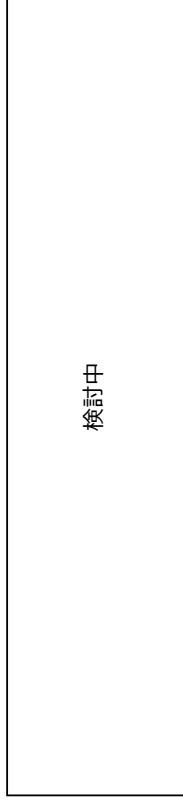
第70回全国植樹祭（愛知大会）

第3章 植樹行事計画

4 代表者記念植樹計画

- 招待者代表は、式典会場内で、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時にそれぞれ1本ずつ行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 代表者記念植樹木は、アフター地域植樹等において、本県の森づくりに活用します。

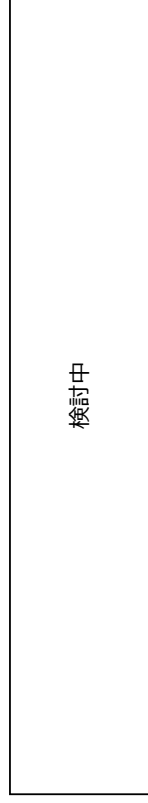
■ お手植え所・お手播き所および代表者記念植樹配置図



5 都道府県代表者等植樹計画

- 都道府県代表者等は、式典会場2Fで、式典開始前にそれぞれ1本ずつ植樹を行います。
- 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。
- 都道府県代表者等植樹木は、アフター地域植樹等において、本県の森づくりに活用します。

■ 都道府県代表者等記念植樹配置図



■ 都道府県代表者等記念植樹樹種（2種）

- 天皇陛下のお手植えと同じ樹種を植樹します。

ヒノキ	スギ
-----	----

■ 都道府県代表者等記念植樹スケジュール

招待者区分	植樹会場	スケジュール
都道府県代表者等	ジップアリーナ岡山 2F	午前植樹 式典会場入場後、係員の案内により、自席から植樹会場へ移動し、植樹を行った後、再び自席へ移動する。

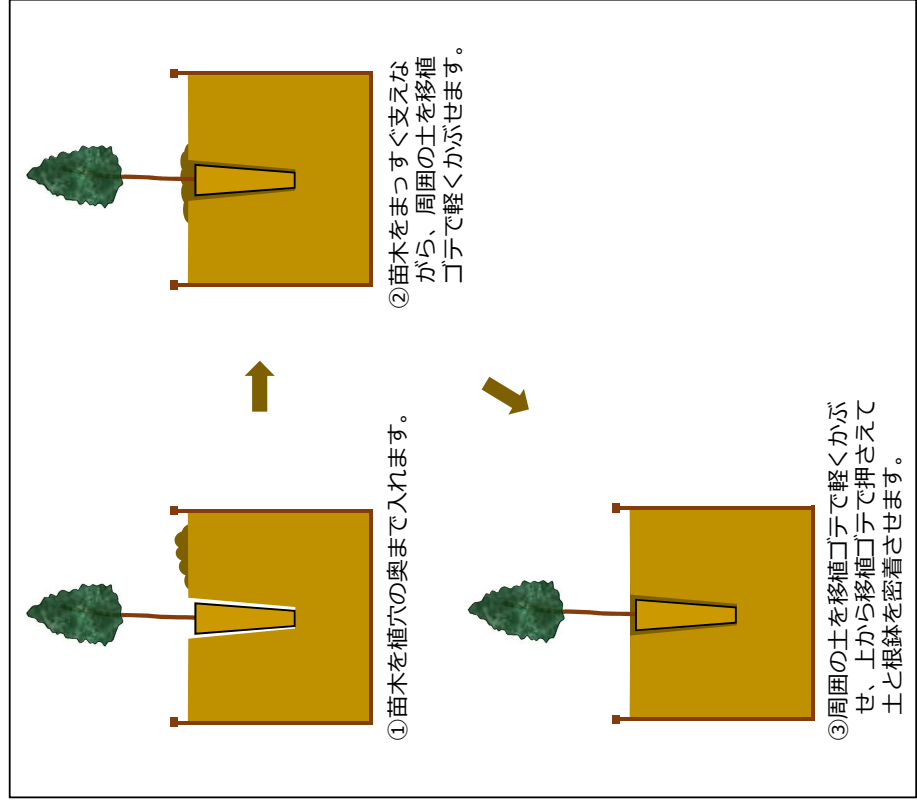
第3章 植樹行事計画

6 植樹要領

(1) コンテナ苗

- コンテナ苗木は根鉢（根とそれを覆う土）の部分を崩さないよう、注意して植穴に入れます。
- 植穴の奥まで入れて、根鉢の上面が地表面より数センチ下のなるようにします。
- 周囲の土を移植ゴテで軽くかぶせ、上から移植ゴテで押さえて土と根鉢を密着させます。

■ 植樹要領図

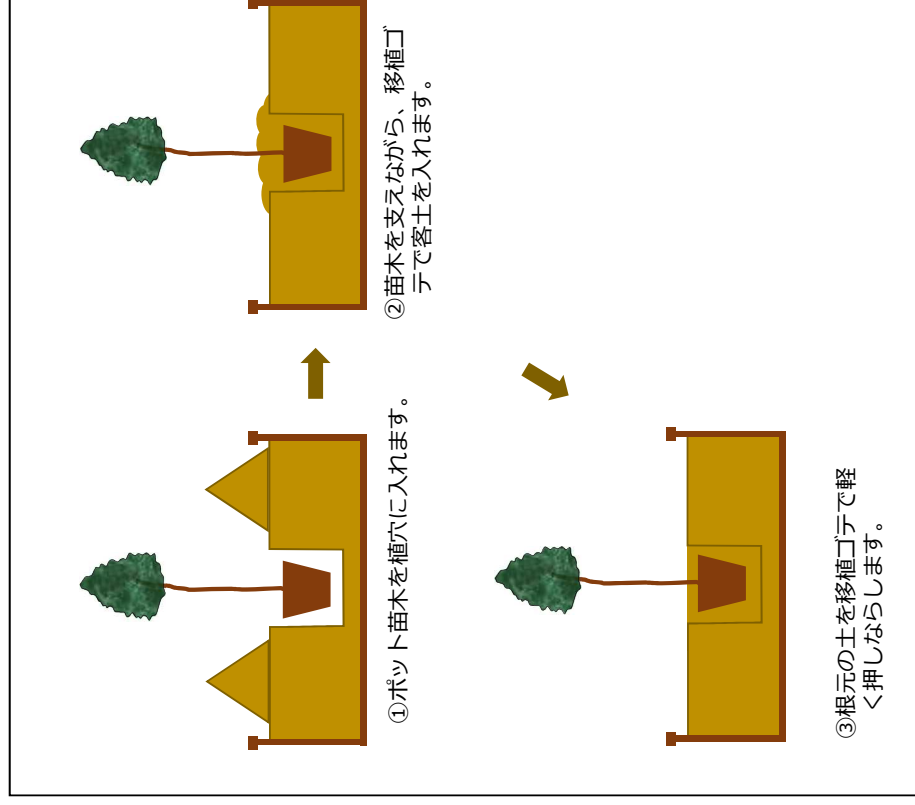


第3章 植樹行事計画

(2) ポット苗

- ポット苗木を植穴に入れます。
- 苗木をまっすぐになるように手で支えながら、苗木の周りに移植ゴテで客土を入れます。
- 地面から少し盛り上がるまで土をかぶせたら、苗木を軽く引っ張りながら、根元の土を移植ゴテで軽く押しなします。

■ 植樹要領図



第3章 植樹行事計画

7 県外招待者へ苗木の贈呈

- 県外招待者には、岡山後楽園を彩る樹木から育てた苗木を贈呈します。
- 全国各地において植樹をしていただくことにより、岡山から全国へ、身近なみどりの創出につながってまいります。

■ 各県招待者贈呈樹種（3種）

	樹種	特徴
アジサイ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月上旬から7月中旬が見頃 ・ 花葉の池や曲水 downstream で梅雨の時期に、涼しげな花を咲かせる
サツキ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月下旬から6月上旬が見頃 ・ ピンクや朱色のサツキに彩られた唯心山や延養亭は、後楽園を代表する景色のひとつ
ヒラトツツジ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月下旬から5月上旬が見頃 ・ ピンクや白のヒラトツツジが唯心山を中心に園内を彩る

8 地域植樹計画

- 令和5年度を中心に県民参加による植樹を行います。
- 岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。
- 児童など県民が育てた苗木も使用します。
- 木工体験等のイベントを併催し幅広い世代の県民の皆様に参加していただきます。

※地域植樹の開催時期及び場所は6ページの表を参照



第4章 式典会場等整備計画

1 基本的な考え方

式典会場等整備計画は、次の事項を基本として実施します。

- 会場整備にあたっては、できるだけ自然環境に負荷を与えないように配慮するとともに、経費節減を図ります。
- 会場に設置する仮設構造物等には、県産木材をできる限り使用するとともに、資源の再利用を推進するなど、環境負荷の低減に努めます。
- 会場レイアウトや仮設構造物等は、安全性や機能性を考慮し、全ての招待者が安心して快適に参加できるよう配慮します。

2 施設配置計画

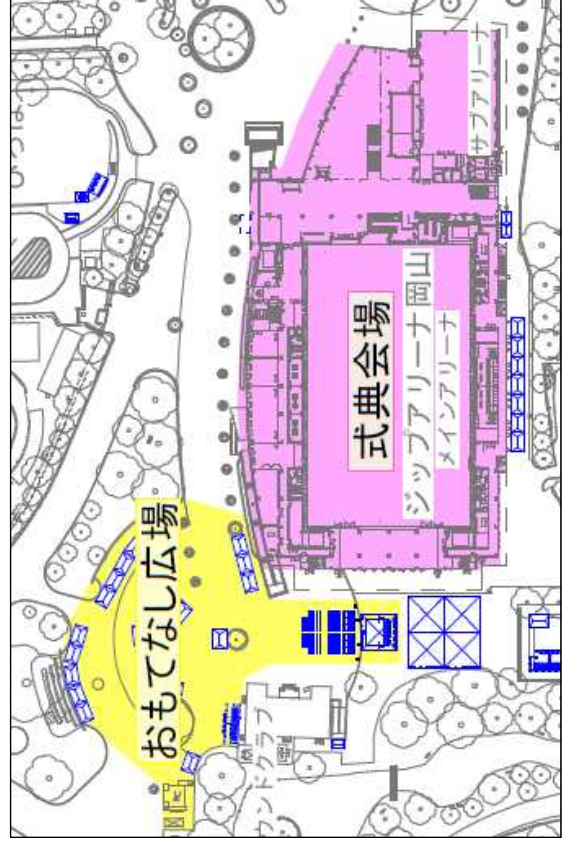
会場は、式典会場エリア、おもてなし広場等にゾーン分けします。

(1) 式典会場エリア

会場レイアウトや構造物等については、安全性や機能性を考慮し、全ての参加者が安心して快適に参加できるよう配慮します。

(2) おもてなし広場

式典エリアと隣接した場所に配置し、招待者に岡山の魅力をPRします。

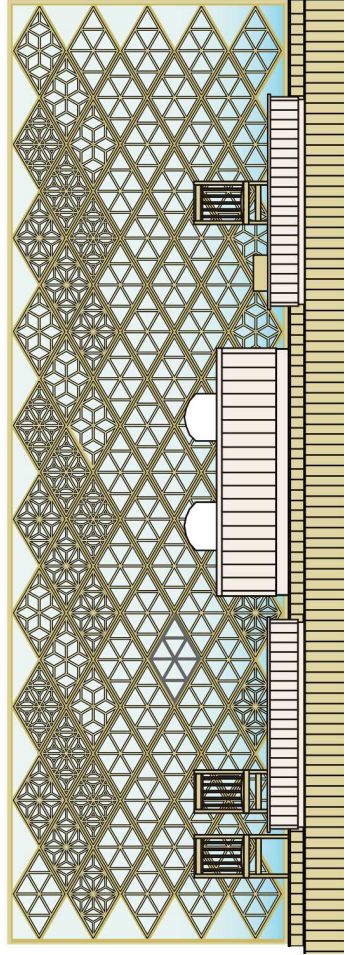


第4章 式典会場等整備計画

3 主要施設計画

(1) 御座所・ステージ

- みどり豊かな中国山地に源を発し、県内を流れる三大河川（吉井川、旭川、高梁川）を伝統木工技法である組子で表現します。
- それぞれの河川を彩る四季折々の花々のほか、古来より着物等の布地として利用されてきた麻の葉や川面にきらめく陽光を組子で表現することにより、「晴れの国」や「光で育つ緑」を感じさせるデザインとします。



平面図



側面図

第4章 式典会場等整備計画

(2) CLTゲート

- ヒノキ生産量が全国でもトップクラスの岡山県産ヒノキCLTを、ジョイント金具を使用せずに結合し、強固な六角アーチを形成したデザインとします。
- 日本の伝統木工技法である組子細工の技術をCLT建築へ応用します。



立面図



側面図

第4章 式典会場等整備計画

(3) 会場内工作物

- 原則として県産木材を使用し、安全性、経済性に配慮したものとします。
- 会場内工作物は、全国植樹祭終了後の再利用を考慮して制作します。



ベンチ



プランターカーバー

第72回全国植樹祭（滋賀大会）

4 案内・誘導計画

- 招待者が安全かつスムーズに式典や植樹行事などに参加することができ、各施設等への移動に支障がないよう、各所に案内サインを設置します。
- 案内サインの材料には、県産木材のほか、リユース可能な製品の活用等、環境に配慮した資材の使用に努めます。
- 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。また、視覚障害者向けに音声案内設備を設置するなど、障害等の特性に応じた方法で案内できるように対応します。

配置区域	サイン種別	内容
会場全体	施設表示	各エリア、施設等の名称を表示
	誘導	招待者を各エリア、施設等に誘導するサインを動線上に設置
	注意事項	遵守事項、安全管理事項、手荷物検査の協力要請事項、持ち込み禁止物に関する注意事項等を表示
式典	座席表示	招待者の座席位置等の表示
	会場案内図	会場内の全体図及び現在地の表示

第4章 式典会場等整備計画

5 電気・通信設備等計画

(1) 電気設備計画

既存設備で不足が生じた場合は、仮設電源（ジェネレーター等）を設置し対応します。

(2) 通信設備計画

運営を円滑に行うため、携帯電話やトランシーバーなどの無線通信機器を適正に設置します。

(3) 仮設トイレ計画

おもてなし広場などに適正な数量を設置するとともに、衛生面にも十分に配慮します。

6 飾花計画

会場の飾花は、県内産の花きを使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置します。

設置区域	内容
式典会場	各エリアの区分や招待者の動線を明確にするとともに、会場の雰囲気を引き立てるよう配置します。
サテライト会場 PR会場	プリンターを配置します。



第72回全国植樹祭（滋賀大会）



第5章 運営計画

1 基本的な考え方

- 全国からの招待者を岡山らしいおもてなしでお迎えし、開催の意義や理念を広く発信する場とします。
- 全国植樹祭の運営に当たっては、市町村、関係団体、NPO法人、ボランティア団体等との協力、連携を図りながら進めます。

2 招待計画

招待者区分	人数	備考
①中央特別招待者	30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、岡山県知事、県議会議長、次期開催県知事、岡山市長 等
②県外招待者	700人	県選出国会議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者等
一般招待者	700人	各都道府県森林・林業関係者 等
小計	920人	
③県内招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
一般招待者	700人	県内の森林・林業・緑化関係者、県内公募による一般県民 等
小計	900人	

第5章 運営計画

3 招待者行動計画

式典前日の行程

時間	全体進行	中央特別招待者	特別招待者	一般招待者
17:30	作品御覧	借上車両・公共交通機関等	駅・空港等	駅・空港等
18:00	交流会	交流会受付	自由行動 ※岡山県内の観光地へ	公共交通機関等
19:00			交流会	宿泊施設
			交流会	自宅
			宿泊施設	

第5章 運営計画

式典当日の行程

時間	全体進行	中央特別招待者	特別招待者	一般招待者
8:00	おもてなし広場	宿泊施設 借上車両等 入場・着席	宿泊施設 借上車両・シャトルバス等 受付・入場チェック・着席	宿泊施設 シャトルバス等
9:30			北海道県代表者招待記念植樹	北海道県代表者招待記念植樹
9:50 10:00			完全着席	
11:00	プロローグ		プロローグ	
12:00	記念式典	代表者記念植樹	記念式典	
13:00	エピローグ	借上車両等 駅・空港等	エピソード 自由行動 ※おもてなし広場にてお楽しみいただけます。 借上車両・シャトルバス等 駅・空港等	
14:00	おもてなし広場			

※本計画の式典行事が午前開始となることを想定したものです。式典行事の開始時間や行動計画は変更となる場合があります。

第5章 運営計画

4 受付計画

(1) 受付内容

- 招待者（中央特別招待者を除く）については、総合グラウンド内受付会場にて受付を行います。
- 必要に応じて受付業務の補助等の対応がとれるよう、関係者と連携を図ります。

招待者区分	受付日	受付種類	受付場所	受付内容
中央特別招待者	前日	宿泊受付	指定宿泊施設	①ルームキーの引き渡し ②記念品・大会用品の配付 ③宿泊案内の配付 ④交流会参加の案内
特別招待者 (県外・県内)	当日①	会場受付	総合グラウンド (シテイライイト スタジアム)	①本人確認 ②大会用品の配付 ③手荷物預かり
一般招待者 (県外・県内)	当日②	入場 チェック	おもてなし広場	①手荷物・I Dカードの確認、持込禁止品の預かり ②金属探知機

(2) 招待者に配付する記念品等

- 全国植樹祭の開催理念や大会テーマ、岡山県の自然や産業、観光資源、特産品等を全国に情報発信するために、記念品等を配付します。
- 記念品の選定にあたっては、岡山県らしい県産品の活用を図り、環境に配慮したものとするとともに、遠方からの招待者の持ち帰りやすさに配慮します。
- 式典の円滑な運営のため、I Dカード等を配付します。

第5章 運営計画

5 特別接伴計画

特別接伴が必要と認められる招待者には実施本部員が次の対応を行います。

(1) 中央特別招待者

- 移動には原則として、借り上げ車等の乗用車を使用します。
- 前日は、出迎えから交流会の受付、会場内の案内、誘導、宿泊場所への案内など常時サポートします。
- 式典当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、植樹誘導、見送りまで常時サポートします。
- 中央特別招待者の行動が常時把握できる通信連絡体制を整えます。

(2) 特別招待者

- 移動には原則として、バスを使用します。
- 交流会に参加する特別招待者については、出迎えから交流会の受付、会場内の案内、宿泊場所への案内など常時サポートします。
- 式典当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、植樹誘導、見送りまで常時サポートします。
- 特別招待者の行動が常時把握できる通信連絡体制を整えます。

6 作品御覧・交流会計画

(1) 作品御覧

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第74回全国植樹祭大会ポスター原画作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

- 【主 催】 公益社団法人国土緑化推進機構、岡山県
- 【開 催 日】 全国植樹祭開催の前日
- 【出 席 者】 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者

第74回全国植樹祭大会ポスター原画作者

第5章 運営計画

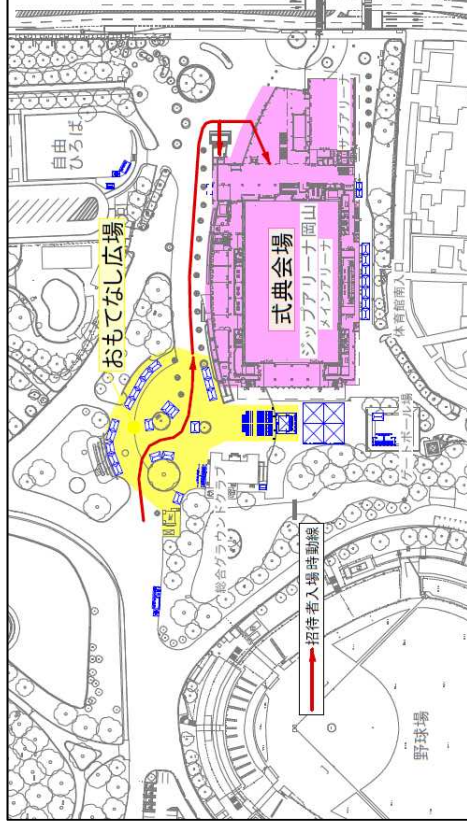
(2) 交流会

天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第74回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

- 【主 催】 岡山県
- 【開催日】 全国植樹祭開催の前日
- 【出席者】 中央特別招待者 等

7 会場内動線計画

(1) 入場時の動線



(2) 退場時の動線

入場時のコースを反対に戻る動線とします。

第5章 運営計画

第5章 運営計画

8 会場おもてなし計画

- 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、仮設トイレ等を整備します。
- 岡山県の森林・林業・木材産業の優れた製品・技術等を招待者に広くPRするとともに、観光案内や特産品販売を効率的・効果的に実施するため、各種展示コーナー、物産販売コーナーなどを関係団体と協力しながら設置して、本県の魅力を広く発信する空間とします。

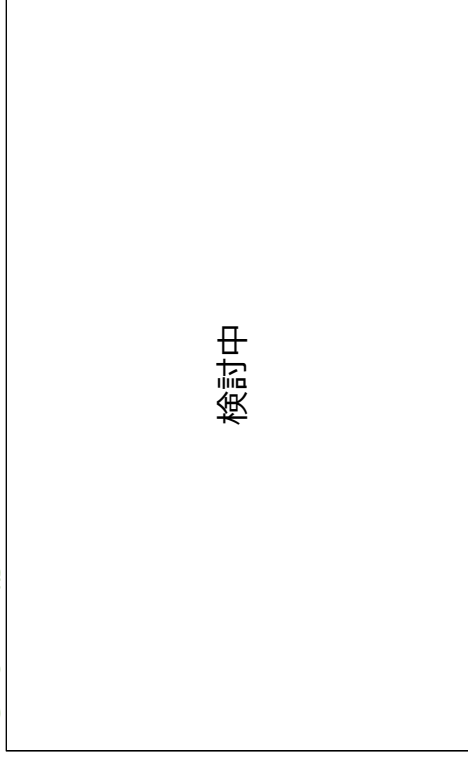
区分	種類	内容
おもてなし広場	総合案内所	各種案内・情報提供
	湯茶接待コーナー	湯茶、ミネラルウォーターの提供
	展示コーナー	岡山県の森林・林業・木材産業の優れた製品や技術等の紹介
	販売コーナー	岡山県の特産品や飲食物等の販売
	臨時郵便局	記念切手の販売、郵便・宅配サービス



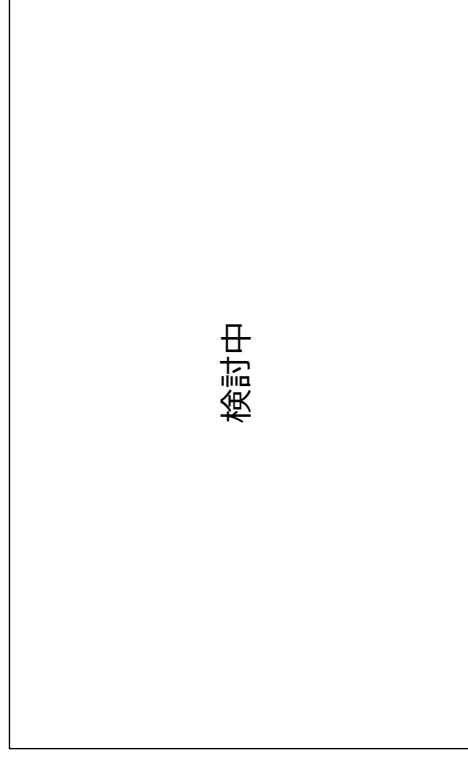
第70回全国植樹祭（愛知大会）



■ おもてなし広場配置図



■ おもてなし広場展開イメージ



9 サテライト会場等計画

- 式典参加者のみならず、多くの県民の方々に第74回全国植樹祭を身近に感じていただくため、真庭市の「GREENable HIRUZEN(グリーナブルヒルゼン)」にサテライト会場を設置し、式典を放映するとともに各種出展ブースを設置します。
- 事前に倉敷市の「イオンモール倉敷」にPR会場を設置し、植樹祭を紹介するとともに、当日のサテライト会場への参加を促します。

(1) サテライト会場

観光文化発信拠点の施設である「GREENable HIRUZEN」にサテライト会場を設置します。

【実施予定内容】

- ・ 式典中継 ・ 木工製品の展示、販売 ・ 木工体験
- ・ 森林業パネル展示 ・ 物産販売 等



第72回全国植樹祭(滋賀大会) サテライト会場

(2) PR会場

大型ショッピングセンターである「イオンモール倉敷」のイベントスペースや駐車場にPR会場を設置します。

【実施予定内容】

- ・ 第74回全国植樹祭PR ・ 木工製品の展示、販売 ・ 木工体験
- ・ 森林業パネル展示 ・ 物産販売 等

10 医療・衛生計画

(1) 医療救護所の設置

- 県総合グラウンド内に救護所を設置し、傷病者の医療救護を行います。
- 消防や近隣の医療関係機関の協力を得て、緊急の場合の搬送・受入体制を整えます。

(2) 衛生対策

- 保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- 食の安全を期すため、宿泊施設や会場内の食品提供施設などの指導を徹底します。
- 飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺環境の美化に努めます。

11 消防・防災・警備計画

- 消防、警察その他関係機関との協体制を築き、連携を密にして、招待者等の安全を確保し、安心して参加いただけるようにします。

(1) 消防・防災

- 実施本部が中心となり、異常事態の早期発見・通報に努めます。
- 会場内は、喫煙所を除き全て禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- おもてなし広場等の火気使用についても管理を徹底します。
- 避難計画を策定し、実施本部員への周知を図るとともに、安全に避難できる体制を整えます。

(2) 警備

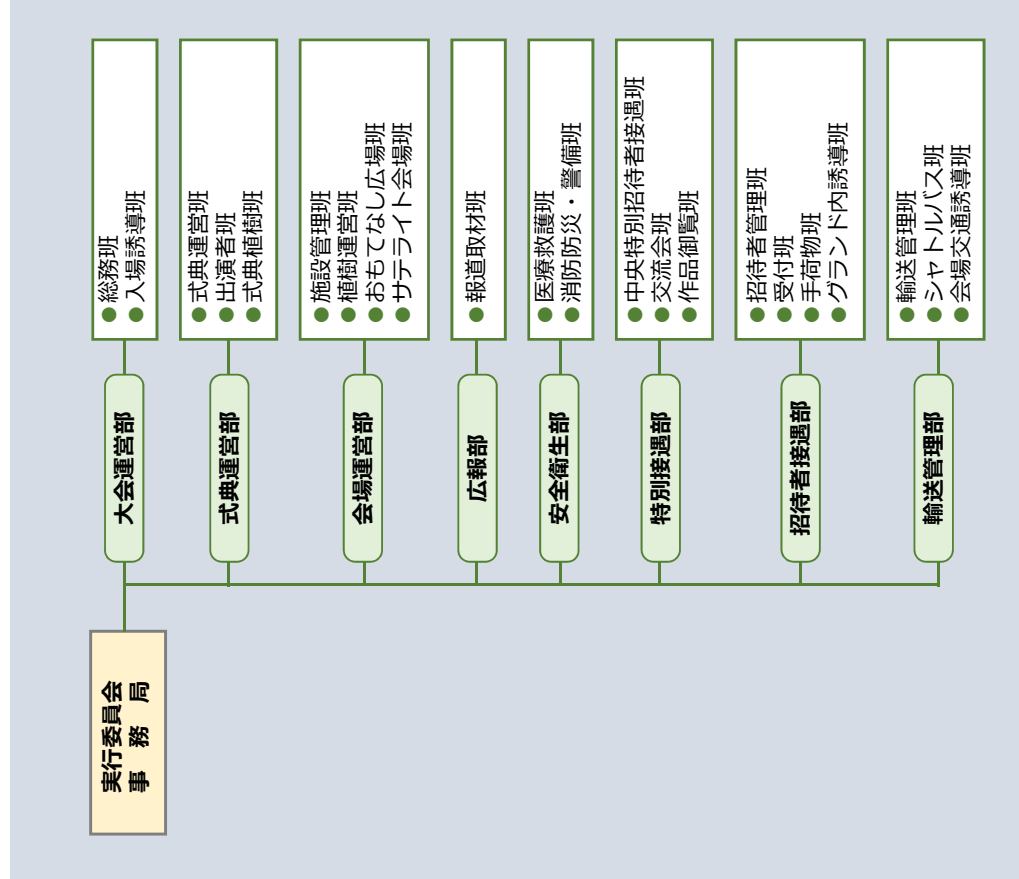
- 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 警備員などを配置して、警備や車両の整理、招待者等の誘導を行います。
- 式典会場の入場ゲートでは、金属探知機等による持ち物検査や入場者の確認を行います。
- 式典会場、植樹会場、駐車場等では、使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備を行います。

第5章 運営計画

12 実施体制計画

- 円滑な運営を図るための実行組織を設置します。
- 員職員などの協力を得て効果的な要員配置を行うとともに、実施運営の円滑化及び招待者等の安全性や快適性の確保に努めます。

○実施体制(案)



第5章 運営計画

13 研修・リハーサル計画

- 円滑な運営に向けて、係員等の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- 効果的な研修・リハーサルを実施するため、事前に、各班単位の「運営マニュアル」を作成します。
- リハーサル計画に基づき、係員が業務内容を把握できるようにします。

(1) 係員等の研修計画

係員等の研修は、事前の資料配付、現地視察、リハーサルへの参加等により実施します。

(2) 研修・リハーサル計画

区分	時期	場所	参加者	内容
出演者説明会	8～4カ月前	未定	出演者代表	式典概要・参加内容説明
式典合同練習会	3月下旬	未定	出演者	式典部分の集合練習
アトラクション合同練習会	3月下旬	未定	出演者	アトラクション部分の集合練習
係員説明会	4月上旬～中旬	未定	係員	業務内容の説明
1か月前式典リハーサル・総合リハーサル	4月下旬	式典会場	出演者 係員	全体通しリハーサル、式典部分のリハーサル
1週間前式典リハーサル・総合リハーサル	1週間前	式典会場	出演者 係員	全体通しリハーサル、車両・参加者誘導、接遇研修、非常時訓練他
前日リハーサル	開催前日	式典会場	出演者 係員	全体通しリハーサル、車両・参加者誘導、接遇研修、非常時訓練他

14 非常時対応計画

- 開催日の1週間前から随時、気象情報の収集に努め、集中豪雨、集中地震、突発事象を含めた非常事態が発生した場合は、実施の可否を判断するとともに、ホームページ等にて周知します。
- あらかじめ関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な指示・伝達を行います。

1 基本的な考え方

- 式典前日の宿泊を希望する招待者については、旅行会社を通じて式典会場の近隣地域等で宿泊施設を手配します。
- 式典当日の輸送については、式典会場の立地を踏まえ、公共交通機関を最大限活用し、環境に優しい移動手段を検討することとします。また、宿泊地の交通状況等に応じて、一部招待者については貸切バスにより式典会場へ移動することとします。
- 宿泊施設の収容人員、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制を総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- 参加者の安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び必要な交通規制等について、関係者で綿密な検討を行うとともに、添乗員の配置・案内等により快適な輸送体制を整えます。
- 会場周辺及びアクセス道路沿線の安全を確保し、警備に万全な警備体制を構築します。
- 岡山県の温かいおもてなしの心をもつて、無理のない安全・安心な宿泊・輸送体制を整えます。

2 宿泊計画

- 式典会場までの道路状況やアクセス等を考慮した適切な宿泊エリア・宿泊施設を選定します。
- 宿泊エリアの特性に応じた宿泊プランを設定します。
- 食事については、本県の食を楽しんでいただけるよう工夫します。

3 輸送計画

(1) 輸送方針

- 公共交通機関を最大限活用し、環境に優しい移動手段を基本とした輸送計画を作成します。
- 参加者の安全で円滑な輸送を行うため、関係機関と連携を図ります。
- 式典当日の道路混雑等のリスクを想定した最短ルートを設定します。
- 中央特別招待者には警備上支障のない車両を使用します。
- 実施本部員等は当日会場参集とします。

(2) 関係車両一覧

招待者区分	使用車両	台数	同乗者	備考
中央特別招待者	借上車	台	接伴員	出迎え・添乗・誘導・お見送り
特別招待者	借上車	台	添乗員	各種案内・誘導
一般招待者	シャトルバス	21台	添乗員	各種案内・誘導
本部員協力員			現地集合	

4 運行管理体制・道路交通対策

- 式典会場周辺に輸送管理本部を設置し、運行状況の管理を一元的に行います。
- 会場周辺の道路や招待者の輸送ルートにあたる道路については、事前に道路管理者と協議の上、道路工事や道路占有許可等の必要な措置を講じます。
- 参加者及び周辺住民等の交通の安全の確保と車両の円滑な運行を行うため、関係機関の協力を得て、交通整理、交通規制等を実施します。

第7章 記念事業等計画

1 基本的な考え方

第74回全国植樹祭の開催理念を広めるとともに、森づくりや木材利用の必要性について、県民の皆様幅広く啓発するため、記念事業等を実施します。

2 記念事業

(1) 周年イベント

第74回全国植樹祭の大会の周知、開催気運の醸成を図るため、周年イベント（1年前、200日前、100日前、アフターイベント）を開催します。
周年イベントでは、記念植樹や森林・林業・木材産業のPR、木工体験などを実施します。

区分	時期	場所
1年前	令和5(2023)年 5月20日	岡山市東区 西大寺南 西大寺緑花公園 ・百花プラザ
200日前	令和5(2023)年 10月8日	勝央町勝間田 勝央文化ホール・図書館周辺
100日前	令和6(2024)年 2月●日	備前市日生町 日生 「五味の市」周辺広場
アフター	令和6(2024)年 秋頃	新見市正田 憩いとふれあいの公園(仮)

第74回全国植樹祭 1年前記念イベント



記念式典



丸太伐り体験

第7章 記念事業等計画

(2) 緑化意識・機運醸成イベント

県民の緑化意識・開催機運の醸成を図るため、令和5年度を中心に各種イベントにPRブースを出展するとともに、森・みどりをテーマにした読み聞かせを県内の大学等で実施します。

「森・みどりがひろがる読み聞かせ支援事業」



読み聞かせ



木工ワークショップ

(3) 地域植樹(再掲)

県内に設置した地域植樹会場で県民参加による植樹を行います。岡山県の気候風土や会場の特性に適した樹木を植樹します。

※地域植樹の開催時期及び場所は6ページの表を参照

(4) 苗木のホームステイ・スクールステイ

第74回全国植樹祭記念事業等で活用する苗木の育成体験を実施します。この取組により森林や身近なみどりの大切さについて、多くの県民の皆様知っていただくとともに、第74回全国植樹祭の開催機運を醸成します。



(5) 全市町村参画による記念植樹

第74回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、令和5年度を中心に、県内市町村において、記念植樹を実施します。

【場所】 各市町村の公共施設等

【内容】 記念植樹



赤磐市での記念植樹

(6) 「木製地球儀」巡回展示

第74回全国植樹祭の開催機運を醸成するため、大会シンボルである「木製地球儀」を県内各地(全市町村)で巡回展示します。

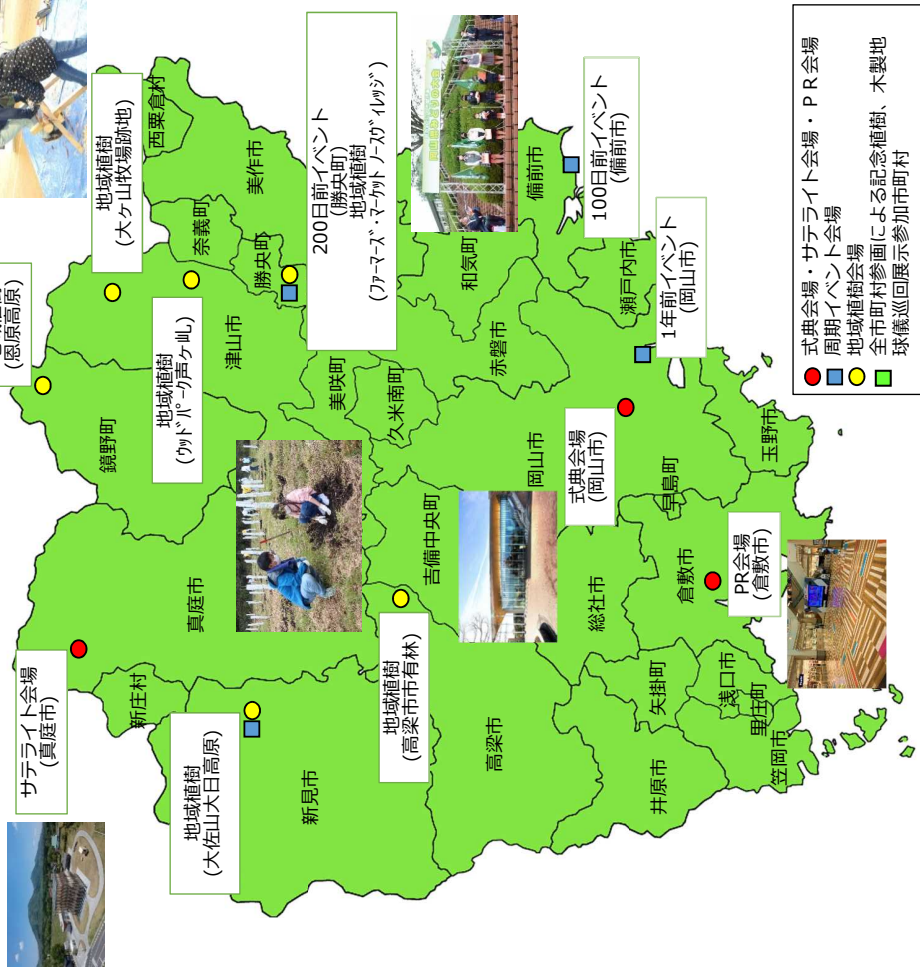
【時期】 令和5年8月～

(7) 記録誌の発行

第74回全国植樹祭の式典行事、植樹行事をはじめ、各種記念行事などの取組を記録誌にまとめ、関係機関等に配布します。

第7章 記念事業等計画

<周期イベント及び地域植樹会場等位置図>



3 関連事業

■ 第52回全国林業後継者大会

第74回全国植樹祭の併催行事として「全国林業後継者大会」を開催します。全国の森林・林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性について意見を交わし、林業を担う人たちが希望や誇りをもって働き続けられる林業の魅力を全国に発信します。

【時期】 令和6(2024)年春(第74回全国植樹祭の前日)

【場所】 津山文化センター(津山市)

【内容】 森林・林業関係者の活動発表、パネルディスプレイセッション等

第8章 広報・協賛計画

1 基本的な考え方

- 広報宣伝や協賛募集を通じて、第74回全国植樹祭の開催理念、基本方針及び内容、大会に向けた様々な取組等について、広く普及・浸透を図り、開催への機運を醸成していくとともに、今回の大会を本県の魅力を全国に発信する絶好の好機ととらえ、効果的なPRを行います。
- 広報媒体の特性を生かした情報発信により、効果的な広報活動を実施します。また、SNSを活用し若い世代への情報発信も行います。
- ロゴマーク及び大会ポスター原画を活用し、第74回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。

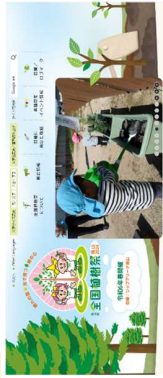


各種イベントでのPR

2 広報計画

(1) インターネットの活用

第74回全国植樹祭の公式ホームページを開設するとともに、SNSの活用等を通じて、各種イベント・取組等に関する情報を積極的に発信します。また、各種問い合わせや申し込みなどについても、インターネットを効果的に活用します。



公式ホームページ



各種SNS

(2) 公共広報媒体の活用

県及び各市町村の広報媒体を有効活用し、広く県民に向けて、きめ細かい情報提供とPR活動を実施します。

(3) マスメディアの活用

第74回全国植樹祭、記念事業等に関する情報が広く発信されるよう、テレビ、ラジオ、新聞等の各報道機関への情報提供を積極的に行います。

(4) 企業・団体との連携

ロゴマーク等の使用を広く呼びかけるなど、県内を中心とした企業・団体の支援協力による広報活動を通じ、第74回全国植樹祭の周知を図ります。

(5) 植樹祭情報紙の発行

「全国植樹祭だより」を発行し、開催準備状況や記念事業の実施状況等について情報発信します。

第8章 広報・協賛計画

2 広報計画

(6) PRグッズの作成・配布

ロゴマーク等を用いた各種PRグッズを作成・配布し、開催の周知と機運の醸成を図ります。

(7) 第74回全国植樹祭 岡山2024 応援事業

第74回全国植樹祭の開催理念に賛同し、開催周知や機運醸成、開催成果の継承に協力してもらえらるイベントを募集します。

3 協賛計画

- 「第74回全国植樹祭」を成功へと導き、一過性のイベントとして終わらせることなく、県民を始めとする多くの方々の心に残る実り多いものとするためには、この大会の趣旨に御賛同いただくとともに、広く支援・協力を求めていきます。
- 協賛企業等は、第74回全国植樹祭の式典会場や公式ホームページ、記録誌等で協賛者名を掲載、おもてなし広場に出展できるなどの特典が得られます。

(1) 資金協賛

第74回全国植樹祭の開催に要する資金（協賛金）の提供

(2) 物品協賛

第74回全国植樹祭の開催に要する物品（協賛物品）の提供

(3) その他

第74回全国植樹祭の開催に要する機器等の無償貸与、役務の提供、広告掲示等による協力

【表紙写真】

- ① 高梁川
- ② ヒノキ人工林（新見市）
- ③ 備中神楽（国指定重要無形民俗文化財）
- ④ 清水白桃（栽培面積全国一位：R元）
- ⑤ ピオーネ（栽培面積全国一位：R元）
- ⑥ 備中国分寺（総社市）
- ⑦ 岡山城と岡山後楽園（岡山市）
- ⑧ 蒜山高原とジャージー牛（真庭市）
- ⑨ 瀬戸内海と瀬戸大橋
- ⑩ 特別史跡 旧閑谷学校（備前市）





第74回全国植樹祭 実施計画
令和6年1月

第74回全国植樹祭岡山県実行委員会事務局
(岡山県環境文化部全国植樹祭推進室内)



〒700-8570 岡山県岡山市北区山下2丁目4番6号
 電話番号：086-226-7872 ファクシミリ番号：086-226-7885
 ホームページ：https://www.pref.okayama.jp/site/syokujusai2024/
 または、「第74回全国植樹祭」で検索してください。



第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会（総会）今後の予定

会議日程	会議内容（報告、審議、決定事項等）
【設立総会】 （第 1 回総会） 令和 2 年 11 月 16 日	1 実行委員会の設立について 2 令和 2 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 専門委員会への付託事項について
【第 2 回総会】 令和 3 年 3 月 23 日	1 令和 3 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
【第 3 回総会】 令和 3 年 7 月 30 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 2 年度収支決算（案）について 3 基本計画の策定について
【第 4 回総会】 令和 4 年 3 月 25 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 4 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 3 基本計画の策定状況について
【第 5 回総会】 令和 4 年 7 月 20 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 3 年度収支決算（案）について 3 基本計画（素案）について
【第 6 回総会】 令和 5 年 1 月 18 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 基本計画（案）について → 令和 5 年 1 月 31 日の国土緑化推進機構特別委員会で基本計画の承認・決定
【第 7 回総会】 令和 5 年 3 月 29 日	1 令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について ※書面開催
【第 8 回総会】 令和 5 年 7 月 4 日	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 令和 4 年度収支決算（案）について 3 実施計画（素案）について
【第 9 回総会】 令和 6 年 1 月頃	1 経過報告（専門委員会、広報、関連事業等） 2 実施計画（案）について → 令和 6 年 2 月の国土緑化推進機構特別委員会で実施計画の承認・決定
【第 10 回総会】 令和 6 年 3 月下旬頃	1 令和 6 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について ※書面開催を予定
令和 6 年（春） 第 74 回全国植樹祭岡山県開催	
【第 11 回総会】 令和 7 年 2 月頃	1 令和 5 年度、令和 6 年度事業報告及び収支決算について 2 実行委員会の解散について